

救護施設 大分県光明寮



施設運営目標

安全・安心・安寧

2020年度 施設要覧

- 1.施設の概要
 - 2.年間行事
 - 3.食事への取り組み
 - 4.趣味の会 余暇活動
 - 5.保健衛生 健康管理
 - 6.自立へ向けての支援
 - 7.退所後のサポート
 - 8.公益事業への取り組み
 - 9.利用者の状況
 - 10.地域に根ざした施設を目指して
 - 11.防災対策
 - 12.施設利用について
- ※おおいたくらしサポート

施設の理念

利用される方々の意思を尊重し、一人ひとりが心身ともに健やかに、かつその人に応じて自立した日常生活が送れるよう支援する。

施設の運営方針

人間尊重の理念に立って、利用者ひとり一人をよく理解し、健康で明るく楽しい生き甲斐のある寮生活を実現し、あわせて地域福祉の拠点として地域福祉とともに発展向上する創造性のある施設づくりをはかる。

また、社会復帰希望の利用者には自立支援移行訓練を一定期間行い、スムーズな社会復帰が出来るように支援をする。

施設情報

経営主体 社会福祉法人 大分県光明寮
施設名 大分県光明寮
理事長 佐藤 祝
施設長 佐藤 祝
所在地 〒879-7153 大分県豊後大野市三重町玉田1515
電話 0974-22-0304 FAX 0974-26-4119
ホームページ <http://koumei.sakura.ne.jp/>
Eメールアドレス komeiryo@crest.ocn.ne.jp

入所定員 60名

職員配置	事務室			指導室		看護師		介護士			介助員	調理		医師			
	施設長	事務長	主任事務員	主任指導員	指導員	主任看護師	看護師	主任支援員	副主任支援員	支援員	介助員	栄養士	主任調理員	調理員	内科医師	精神科医師	
計	33	1	1	1	1	2	1	1	1	3	10	1	1	1	7	1	1
	()兼務	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)				[3]	(1)	(1)		[5]		
	□ 非常勤職員																

令和2年4月1日現在

2.年間行事



【趣味の会 開講式】

年度の始まりに趣味の会の開講式を開催。あわせて満開の桜の中で焼き肉会を開催します。



【利用者一泊・日帰り旅行】

旅行は一泊組と日帰り組に希望で分かれて出かけます。毎年、利用者の皆さん、とても楽しみにしている行事です。



【三光交流会】

市内の養護老人ホーム(視力障害)と会場を交互にしてカラオケ等を通じたの交流会を開催して楽しんでいます。



【新田地区小松明出展・見学】

光明寮のある新田地区では、お盆過ぎに毎年行われている小松明。光明寮でも小松明を作成し展示しています。



【焼き鳥大会】

日本一おいしい焼き鳥屋さんの奉仕でお腹をいっぱいにして、夏の終わりを締めくくります。



【敬老会】

地区老人クラブの方々をお招きし、敬老のお祝い会を開催し、カラオケや演芸、特製のお弁当で楽しいひとときを過ごします。(総人数120名)

1年間の行事

4月	5月	6月
<ul style="list-style-type: none"> ・趣味の会・開講式 花見会 焼肉大会 ・結核 肺癌検診 ・チューリップフェスタ散策 ・地域交流大会(隔年) ・ひかりの里親善ゲートボール大会(毎月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・移転記念日 ・寮内 お茶摘み ・一泊・日帰り旅行 	<ul style="list-style-type: none"> ・三光交流会 ・非常食の日 ・避難所受け入れ訓練 ・熊本・大分救護施設ゲートボール交流会
7月	8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> ・健康講座(教養講座と隔年) ・みくに学園交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏物衣類購入 ・お盆(迎え火・送り火) ・新田地区小松明出展・見学 ・焼き鳥大会 ・夕涼み会(花火大会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会 ・中玉田区秋祭り(神楽協賛開催) ・彼岸供養 ・故郷訪問





【運動会】

隔年開催の秋の運動会では、利用者と隣接の通所事業所利用者全員が参加できるプログラムを作成し、軽い運動を行って汗を流します。



【三重町歳末チャリティーショー】

毎年、町内で開催される歳末チャリティーショーに出演し、職員、利用者で練習を重ねた寸劇や踊りを披露しています。



【施設内もちつき大会】

施設内の餅つき大会、朝からもち米を蒸してお正月に食べるお餅をつき、正月の準備をします。



【初詣】

新年最初の行事、初詣は町内の内山観音様へお参りに行き、その後市内のデパートへ初買に出かけます。



【県内一周駅伝応援】

大分県内一周駅伝の応援に参加します。賑やかな装いで走者を応援します。(大分合同新聞駅伝大賞受賞)



【ひかりの里ゲートボール総合大会】

毎月、施設内で開催しているひかりの里親善ゲートボール大会の総合大会を3月に行います。たくさんのチームが参加をし、一年を締めくくる盛大な大会になります。

10月



- ・運動会(隔年)
- ・インフルエンザ予防接種
- ・日帰り旅行(隔年)
- ・寮内非常駆け付け訓練

1月

- ・初詣
- ・新年祝賀
- ・鏡開き

11月

- ・ふれあい喫茶
- ・三重町歳末チャリティーショー出演
- ・福祉の日

2月

- ・県内一周駅伝応援
- ・節分
- ・バレンタインデー

12月

- ・冬物衣類購入
- ・施設もちつき大会
- ・クリスマス会・忘年会
- ・年取り(大晦日)

3月

- ・ひかりの里ゲートボール総合大会
- ・消火訓練(消防署立ち合い)
- ・彼岸供養
- ・故郷訪問

定例行事



外食の日・買い物指導日

外食とショッピングを月交代で実施しています。利用者自身で、食事をしたいお店を決めたり、購入したいものによって商店を決め、時には個別対応したり、少しでも社会参加支援の一つになればと取り組んでいます。



わくわく昼市

毎月、第三土曜日に市内で開催されているわくわく昼市に出店させていただいています。農園の野菜や手芸、陶芸の作品を販売しています。



総会

光明寮には自治会があります。自治会役員が中心となり、利用者自身が自分たちでよりよい施設にするために、話し合いを持ち、意見を交換し討論する会です。毎月、活発な意見が出ています。

上旬

- ・月初め供養
- ・身障GB交流会（隔月）
- ・外食の日（隔月）

中旬

- ・ひかりの里ゲートボール大会
- ・美容の日（隔月）
- ・わくわく昼市（毎月第3土曜日）
- ・ショッピング（隔月）

下旬

- ・総会
- ・奉仕活動
- ・寮内散髪
- ・誕生日会

1日の生活

	4～9月	10～3月
起床 洗面等	6:30	7:00
朝食	8:00～8:20	8:10～8:30
片付け 清掃	8:20～9:00	8:30～9:10
リハビリ作業 屋外作業 農園作業	9:00～	9:10～
ひまわり会 寮内リハ	10:30～	10:30～
昼食	12:00～12:20	12:00～12:20
片付け	12:15～12:30	12:15～12:30
ラジオ体操	13:00～13:30	13:00～13:30
入浴		
趣味の会	13:30～	13:30～
自由時間		
夕食	18:00～18:15	17:30～17:45
片付け	18:15～18:30	17:45～18:00
自由時間	18:30～	18:00～
就寝	21:00	21:00



【リハビリ作業】

動きの少ない利用者はリハビリを兼ねた作業として新聞紙や広告でゴミ箱やおむつ処理袋を折っています。ゴミ箱は食堂のテーブルに置き、食後の薬袋などを捨てるのに役に立っています。



【屋外作業】

豊かな自然に囲まれている光明寮は、木々の緑が多い分、秋にはたくさんの落ち葉に悩まされます。その落ち葉を含め、屋外をきれいに掃除してくれるのが、外作業班の皆さんです。草取りや坂道の掃除など、環境美化に努めてくれています。



【農園作業】

敷地内にある畑では、季節の野菜を育て収穫し、給食の食材として活用しています。草取りや水遣りなど美味しい野菜を育てる為がんばっています。

3.食事への取り組み

毎日の生活において食事はとても楽しみな時間であり同時に栄養管理、健康維持においても重要な時間です。幅広い年齢層、多様な障害、病虚弱者と様々なニーズに答えるために様々な対応を行っています。また、昼食前のパタカラ体操を実施することで口腔ケア、咀嚼力の向上に努めています。

【個別に対応した食事提供】

栄養士、看護師、支援員により個別の健康、栄養状況を把握し状況に応じて普通食・粥食や減塩食、糖尿食等の対応をしています。



昼食の様子

【嗜好調査、給食会議の実施】

年4回の嗜好調査、給食会議の実施により各季節、行事等に利用者が食べたい物を把握することで様々な好みを理解し食事のメニューに反映させています。



嗜好調査

【衛生管理】

オゾン水生成機を導入し、生野菜を安全に献立に取り入れています。またフキン・床の洗浄・殺菌にも効果があり衛生面の管理に役立っています。また、給食従事者の検便、厨房の大掃除を毎月実施し徹底した衛生管理をしています。



オゾン水生成機

【特別な日の食事】

毎月の誕生日会ではその月の誕生者のリクエストに応じたメニューが組み込まれます。他にも年間行事にある様々な行事の時にはそのイベントに似合った特別な食事が準備されます。

【毎日の食事時間】

4月から9月 朝食は8:00 昼食は昼12:00 夕食は18:00です。

10月から3月 朝食は8:10 昼食は昼12:00 夕食は17:30です。



クリスマス会の食事

4.趣味の会 余暇活動

様々な趣味の会は余暇活動、リハビリ活動として毎日の生活を充実させる活動になっています。毎月、決まった日程で行い、外部からの指導者を招いている会もありとてもやりがいのある内容になっています。



【詩吟教室】

月に3回、煌峯流の指導者を迎えて、楽しく活動しています。それぞれのレベルに合った指導を受け、年2回開催される大会にも参加し日頃の練習の成果を披露しています。



【生花教室】

月に1回、講師を迎えて活動しています。色々な花をそれぞれの思いで生け、心やすらぐひとときを過ごしています。生けた花は食堂に飾り、皆で観賞しています。



【リズム教室】

月に2回、講師を迎えて練習しています。手作りの楽器を使ったり、曲のテンポをゆっくりにしたりして、楽しく取り組んでいます。「すずむし楽団」として、イベントにも出演しています。



【点字教室】

月に1回、指導者を迎えて学習に取り組んでいます。それぞれのレベルに合わせ、年賀状や手紙を点字で書けるように指導をしてくださり、少しずつ上手になってきました。



【ゲートボールクラブ】

毎月開催されるひかりの里ゲートボール大会や対外試合に向け、毎週日、月曜日に会員全員が練習に取り組んでいます。練習の成果が発揮された試合は皆さん大満足です。



【陶芸クラブ】

月に2回、楽しく話をしながら、思い思いの作品に取り組んでいます。風鈴、小鉢、置物、湯飲み等、世界にひとつだけの作品作りががんばっています。



【娯楽クラブ】

月に4回、カラオケ、将棋、囲碁、花札、トランプ、オセロをしています。勝敗にこだわらず、時にはルールを教えてもらいながら、とても楽しく取り組んでいます。頭の体操になるとの声です。

【ウォーキングクラブ】

毎週1回、1時間程度を自分のペースで歩いて健康維持に努めています。光明寮には一周300mの遊歩道があるので、目標を決め、意欲的に取り組んでいます。

【ひまわり会】

居室にこもりがちな利用者に活動の場を提供する為、一つの部屋に集まって頂き、しりとりや歌、読み聞かせや体操を行っています。(月・水・金) また、重度者の屋外散歩や歩行訓練も行っています。(火・木・土)

5.保健衛生 健康管理

利用者の高齢化、要介護者の重度化、また慢性疾患を持つ利用者の増加と様々な利用者に対応した衛生管理・健康管理が必要となってきています。

【定期健診の実施】

2名の看護職員による毎月の体重・血圧測定、毎週来寮される嘱託医の診察、毎年行われる胸部X線検診により常日頃からの健康管理に心がけています。また、精神障害を患っている利用者には精神科嘱託医が月1回、定期診察に来寮します。

【感染症予防】

インフルエンザ等の感染を防ぐため手洗いマスクの励行、職員もしくは職員家族等が感染した時の対応を含め感染症の予防には徹底した準備、対策をとっています。

【服薬の管理】

看護師と支援員との間で確実な情報伝達に努め、利用者が安心できる間違いのない服薬管理に注力します。

【日常の健康管理】

日常生活の中においては暑い時期のエアコンの温度設定や避暑対策、運動不足解消のための活動を考え実施しています。高齢化や重度化によりだんだんと活動する体力も時間も少なくなりがちです。毎日の検温実施や食事の摂取をしっかりと確認することで細かな体調の変化に気づいていけるように心がけています。

【リハビリ室の活用】

月に1回、病院から理学療法士の先生に来ていただき、先生の指導をもとにリハビリ室にて歩く練習やストレッチ、マッサージ、運動機器を使ったリハビリに取り組み身体機能の維持、運動不足解消に努めています。

【入浴について】

入浴については日替わりで指定された時間に入るようになっています。一般入浴（男子・女子）、介助入浴と入浴日が分かれています。一般入浴においてはプライバシーに留意した対応と安全、清潔に入浴出来るように気をつけています。介助入浴においても細心の注意をしながら入浴介助に努めています。また、高齢化、重度化による特殊浴槽の導入を行い介助入浴時の支援員の身体的負担を軽減し安全な介助体制がとれるようになりました。

【オゾン発生機の活用】

数カ所の居室とトイレにオゾン脱臭装置を設置し臭気によるストレス軽減、空気の洗浄効果も発揮しています。なお、風邪予防等の健康維持にも効果を発揮しています。



胸部X線検査の実施



運動機器を使ったリハビリ



介護浴用の特殊浴槽



オゾン脱臭装置の設置

6.自立へ向けての支援

自立自助を基本に、健康・安全・快適・生きがいのある生活を目標に掲げた支援を心がけています。また、自治会の機能の重要視、苦情解決委員会の開催等、個別のニーズに適合した支援により寮生活の充実化を図っています。

【金銭管理】

金銭の管理については自己管理を基本としていますが、管理が難しい利用者の方は担当職員と相談の上、必要な時に必要な額だけ渡すという管理をしています。また、毎日の作業に応じた訓練手当の支給、毎月の小遣い銭の支給を行っています。預金の確認も3ヶ月に一度行い金銭の適切な管理に努めています。

【買い物・外食】

給食以外に必要な食べ物や日用品は毎週土曜日に町内のお店より訪問販売に来ていただいています。その時にお菓子等を各自購入します。その他に定期的にショッピングとして希望者は町内のお店に出かけて衣類等購入します。外食の日には事前に募った希望者で行き先を決めて町内の飲食店に食事に出かけます。

【自治会の運営】

利用者による自治会運営は毎年、会長1名 副会長3名を選任し毎月の総会や日常の問題解決における窓口的な役割を担っています。

【苦情解決委員会の開催】

年4回の苦情解決委員会を開催して苦情を受け付け、苦情解決第三者委員の方を通じて様々な問題に解決を図っています。

【地域交流】

ゲートボール大会、独居老人宅ふれあい訪問、ふれあい喫茶など施設主催の行事以外にも地域のいきいきサロンへの参加、地域のお祭りへの共催開催・参加、ボランティアの方々の積極的な受け入れを行い地域のいろんな方々との交流をしています。

【個別支援計画】

毎年、利用者の意見を拝聴し、担当職員により個別支援計画を作成して目標や支援内容を定め、計画に沿った支援をしています。

【訓練棟での生活】

社会に復帰してからの生活を想定して敷地内に設置した訓練棟での生活を行っています。社会復帰に向けての目標をしっかりと掲げてもらい、社会復帰へのステップとしての生活支援をしています。



青空ショッピングでは、徒歩にて近所の商店へ買物に出かけます。



地域交流ホームは様々な行事や地域交流の場として活用



訓練棟には炊事器具も設置

7.退寮後のサポート

自立支援事業として光明寮での入所生活の後に他の施設へ入所したり社会復帰し生活を営む方々へのサポートも大切にしています。

他施設への移行支援

光明寮では、入所者自身の希望、要望というものを第一に考えた支援をしています。利用者さんの中には他施設へ移りたい、生まれた地域で暮らしたい等の希望を持っている方もいますので、本人の意思を尊重するため福祉事務所、相手施設と綿密な連絡を取り検討を重ね、移行の支援を行っています。



退寮時 利用者総出にてお見送り

寮内で葬儀の実施

入所中にお亡くなりになられた方は、施設内でお通夜、葬儀を執り行います。寮生・職員による弔辞、弔吟、俳句、寮歌斉唱、そして生前故人の愛した歌を流しながら、同じ屋根の下で生活した仲間を利用者・職員全員（約100人）で最後のお見送りをします。



地域交流ホームでの葬儀の様子

8.公益事業への取り組み

- ・豊後大野市教育支援センター「かじか」の通所児童、生徒との交流を行います。
- ・長期入院による入所措置切れ者の入院中の支援を継続して行っています。

9.利用者の状況

令和2年 4月1日現在

【年齢別表】									
年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～	計
男性	0	0	0	4	7	8	6	4	29
女性	0	1	0	1	1	10	5	14	32
計	0	1	0	5	8	18	11	18	61

最低35才 最高92才 平均70才

【障害種類別表】										
障害	身体	知的	精神	身体 知的	身体 精神	知的 精神	身体 知的 精神	左記 以外 疾病	無	計
男性	10	2	5	1	1	0	0	0	10	29
女性	7	1	8	1	3	0	0	0	12	32
計	17	3	13	2	4	0	0	0	22	61

※身体に透析者含む

障害手帳等による計上

【在所期間別表】								
	1年未満	1～3	3～5	5～10	10～15	15年以上	人員	平均
男性	2	7	4	6	3	7	29	10.6年
女性	3	7	4	6	1	11	32	13.6年
計	5	14	8	12	4	18	61	12.6年

【入退所利用者】							
	入所者	退所者内訳					計
		死亡者	措置替者	長期入院者	引取者	社会復帰者	
平成31年度	5人	2人	3人	1人	0人	1人	7人

【福祉別措置機関表】							
国東市	由布市	豊後大野市	西部保健所	大分市	別府市	宇佐市	
1人	4人	7人	0人	12人	2人	4人	
豊後高田市	杵築市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	
2人	3人	0人	5人	2人	7人	7人	
中津市	菊池市						合計
4人	1人						61人

10.地域に根ざした施設を目指して

地域への貢献、交流を目的とした事業を積極的に行っています。様々な団体・機関と事業交流のなかで施設としての機能を開放することで生まれる地域の事業所の役割を模索しています。また、利用者の社会活動参加支援の一環としての地域交流という面も非常に重要になっています。

奉仕活動

毎月、光明寮のある中玉田地区の公園や道路のゴミ拾い・清掃活動をしています。お盆とお正月前には中玉田の老人会の方々と神社清掃を行っています。



奉仕活動 周囲の道路のゴミ拾い

ひかりの里親善ゲートボール大会

毎月、施設内のゲートボール場にて開催するゲートボール大会。毎年度、登録された町内のチームと月替わりで行います。日頃の練習の成果を発揮すると共に地域の方々と交流でき、更に健康増進となっている良い機会になっています。



ひかりの里親善GB大会

身障者ふれあいゲートボール大会

利用者ゲートボール会員と、市内身体障害者福祉会のゲートボール会員の障害者交流促進の場として、ゲートボール大会の会場提供をすると共に、運営支援も行っています。



ふれあい交流喫茶

いきいきサロン・ふれあい喫茶

毎月、光明寮のある中玉田区老人会の主催している高齢者いきいきサロンへ職員と利用者が参加し血圧測定やマッサージ施行をしています。また、年1回 光明寮地域交流ホームにていきいきサロン会員と利用者交流の場として交流喫茶を開催しています。コーヒーや季節感のあるお茶菓子を用意しいくつかのテーブルを囲んで和やかな交流の場となっています。



地域交流大会

地域交流大会

隔年で開催している地域交流大会では、様々な催しを行い地域の方々をはじめ各関係機関、利用者家族、協力業者等に参加して頂き会を重ねる毎に盛大になっています。利用者による趣味の会の発表や地域住民参加のゲーム、抽選会、ゲストによるコンサートや漫談、地元商店による飲食物の販売があり賑やかなお祭りになります。



訪問先のお宅にて

ふれあい訪問

毎月1回 2班編制で地域の独居老人宅へ訪問しています。お茶道具とお茶菓子を持参しマッサージや会話等を通じた交流をしています。訪問した利用者の方は毎回、いきいきとした顔で帰寮されます。

11.防災対策

防災対策

災害時に備えての防災訓練を年に6回ほど行い、施設内での避難時の行動が安心して行えるように訓練しています。要介護者も多数生活しているため非常時の対応には職員、利用者とも繰り返された訓練と意識が必要になります。施設の設定備においても火災に備えてのスプリンクラーの設置や消防との非常時連絡設備の整備、避難時に使用するヘルメットを慌てず確実に着用するためのヘルポストを設置し避難訓練と合わせての相乗効果を担っています。又、24年度、福祉避難所として市長より指定を受け訓練をしています。



各居室前廊下に設置したヘルポスト



福祉避難所受入訓練を実施

12.施設利用について

救護施設は身体・精神・知的の障害の種類を問わず、アルコール依存症や在宅生活困難者、また透析通院者等様々な事情で支援を必要とされている方々を受け入れる施設です。

また、諸事情により一時的な利用を希望される場合、緊急一時入所事業も実施しています。

施設利用を希望される方、また見学希望や詳しく施設について知りたいという方は、光明寮もしくは市町村福祉事務所の方へご連絡ください。

3	2	1	光明寮
豊後三重町水清く	豊後三重町風清く	豊後三重町人清く	寮歌
光の丘の光明寮	緑の丘の光明寮	玉田の丘の光明寮	作詞
暮らした誓い高らかに	寮生職員和やかに	周囲の善意で暖かく	作曲
強く元気に暮らします	心ひとつに暮らします	今日も明るく暮らします	玉田和子

（元入所者）
（元中教諭）



社会福祉法人 大分県光明寮 生計困難者相談支援事業 おおいた くらしサポート

1 事業目的

大分県光明寮では、豊後大野市の市民で生計困難者を対象とした相談支援事業を行う「おおいたくらしサポート事業所」を開所しています。



2 実施方針

生活費に困っている市民からの相談を受け、現物を給付し、生活保護に移行しないための支援を行います。



3 実施内容

- (1) 生活費に困っている市民は、先ず、豊後大野市福祉事務所、豊後大野市社会福祉協議会へ相談を行ってもらった後、光明寮・おおいたくらしサポート事業所の相談員に相談を行います。
- (2) 支援内容は、光明寮・おおいたくらしサポート事業の規定による範囲内での支援となります。ただし暴力団関係者は除くものとします。

支援内容	ア 食材の負担が困難な場合、食材を購入して現物支給を行う。 イ 光熱水費の負担が困難な場合、電気料、水道料、ガス代の支払いを行う。 ウ 日用品費の負担が困難な場合、日用品を購入して現物支給を行う。 エ 医療・介護・福祉サービスの負担が困難な場合、関係機関への支払いを行う。 オ 成年後見人を定める費用の負担が困難な場合、関係者に負担金の支払いを行う。
------	---

支援期間	支援期間は、一事例あたり最長3ヶ月とする。
支援限度額	支援限度額は、10万円以内とする。

4 受付窓口

〒879-7153 大分県豊後大野市三重町玉田1515
社会福祉法人 大分県光明寮 救護施設 大分県光明寮内 担当相談員 岩崎
TEL 0974-22-0304 FAX 0974-26-4119
E-mail komeiryo@crest.ocn.ne.jp